



高橋 正美

「子ども環境家計簿 など継続実施

質 地球温暖化防止の市の取り組みは、**答** 市としては、「登別市温暖化対策推進実行計画」に基づき、事務事業に関する排出量の削減を行っている。

また、環境ポスターの募集や「環境講演会」の開催、「子ども環境家計簿」の作成についての取り組みは継続していく。国は、温室効果ガス25%削減に向けた工程表の作成や、「地球温暖化対策基本法案」の提出を予定しているが、登別市環境保全市民会議と協議しながら、具体的な施策を作成し、推進していきたい。



渡辺 勉

新型インフルエンザ ワクチン無料接種を

市内の小中学生の約40%以上が感染したと疑われる新型インフルエンザ。ワクチン接種には、多額の負担が保護者にかかる。今日の経済状況の中、季節性のインフルエンザ予防接種でさえ、兄弟の間で受験生などのみ接種をしている家庭が多いとのこと。保護者の貧困が、子どもたちの命を奪うようなことがあってはならない。せめて、小中学生だけでも市の責任でワクチン接種を無料にすべきと質問。市は国が検討中であり、市独自としては考えていないと答弁した。



松山 哲男

今後の「マリノパークと 経済活性化

平成13年に交わした(株)北海道マリノパークに係る「経営改善の方針」や「覚書」に明記された5億円の出資と施設の維持管理などの遵守の把握や監査役ポスト放棄の理由など、多額な税を投入した市民の財産に対する行政の取り組みなどをただした。また、新たな視点での観光産業振興のあり方と地元資源を限りなく活用し、一次、二次、三次の各産業につながる「安心・安全な食糧供給基地構想」を提言しながら、今後の地域経済活性化への政策・施策構築の必要性をただした。



赤根 広介

安心とめくもりある まちづくりについて

質 子育て支援の機運を全市的に高める取り組みの一環として、本庁舎のみに設置しているベビーカーの公共施設への拡充と市民への寄付を募ることへの見解は。**答** 今後、早急に市民ニーズの把握に努めるとともに、広報などで市民への寄付を募り、必要に応じて設置をしたい。

質 学校施設などの管理や整備を市長が行う構造改革特区の導入については。**答** 公共施設の新たな管理・整備の手法として、先進自治体の動向を見ながら活用などについて調査研究を行いたい。



平田 江美子

市民が不安を抱えている 年金病院の存続を

登別厚生年金病院の存続は新政権においても確認している。現在の整理機構から「独立行政法人地域医療機能推進機構」に9月30日までに移管するということであるが、この機構がどのような性質のものかよく見えてこない。内容も不透明であり市民にとっては一抹の不安を感じている。市長には市民の命と健康を守る責任があるので、存続に向けて真剣に取り組んでいただきたいとただした。市は公的病院として存続できるように引き続き国や関係機関に要望していきたいと答えた。



石山 正志

要綱の整理と 条例化検討を

現状の例規集について、市民への公開状況をただした。執行部は条例・規則以外に、法的位置付けのない要綱等で、公開されていないものが115件あることを明らかにした。要綱は執行機関の内部規程的な性格を持つが、中にはそれ自体が市民へ影響を及ぼすものもある。今後は自治立法の観点から、要綱の整理とともに条例化の検討が必要と提言した。執行部は、地方分権にふさわしい法体系に向け、活力あふれるまちづくりのため、重要な内容は条例の制定が必要と答弁した。



山口 賢治

マリノパークに道の駅を 併設すべきでは!!

今回は、平成8年に策定された長期総合計画について質問した。この計画には地区別土地利用計画が示されている。それに沿って、登別温泉地区においては、温泉や自然資源を活用した健康保養地づくりを提言。また、登別地区については、登別マリノパークの空き施設を活用し、道の駅などにするべきであると提案した。さらに、駐車場には、市所有の泉源があり、マリノパークまで海水が引かれているので、それらを利用して足湯を設置してはどうかと提案した。



西村 孝夫

「市内経済活性化 ビジョン」の策定を

質 市内経済の閉塞した現状から、各種産業の課題と目標を整理して、当面の課題を克服する必要がある。中長期展望に立った市内経済活性化のため、仮称「市内経済活性化ビジョン」づくりに着手すべきではないか。**答** 現在、経済政策は、ソフト事業を主として取り組んでいる。来年度は今後5年間の基本計画の確認作業を行う。個々の課題にだけ対応した政策ではなく、他の政策と連結させて相乗効果を生み、市内経済が活性化するように検討したい。